



2012年6月4日

マラソン・ランナーの藤原新へ協賛を表明

ビー・エム・ダブリュー株式会社(代表取締役社長: ローランド・クルーガー)は、マラソン・ランナーの藤原新へ協賛を行なう事を表明した。

全てのBMW車は、「よりクリーンに、よりパワーを。BMW EfficientDynamics(エフィシェントダイナミクス)」の設計思想に基づき、燃料消費および排出ガスを削減しながらも、「駆けぬける歓び」も最大化するという理念を実現しているが、この理念は傑出したパフォーマンスを発揮するアスリートにも共通するものであるため、2011年から東京マラソンへ協賛を行ない、さらに、JTUならびにトライアスロン日本代表へも協賛を行なっているが、この度、マラソン・ランナーの藤原新にも協賛を行なう事とした。

協賛に加え、移動や練習随行用の車両としてBMW X5 xDrive35d BluePerformanceを1台、練習用の自転車としてBMW M Carbon Racerを1台提供する。

ニューBMW X5 xDrive35d BluePerformanceについて

SCR(選択触媒還元)システムやDPF(粒子状物質除去フィルター)など革新的なBMW BluePerformanceテクノロジーの採用により、圧倒的な低排出ガス・レベルを達成し、世界で最も厳しい排出ガス基準である日本のポスト新長期規制およびヨーロッパのEURO6をクリアする高い環境性能を実現したモデルである。燃料消費率(JC08モード)は、11.0km/Lを達成し、同じ3リッターの直列6気筒ガソリン・エンジンを搭載したBMW X5 xDrive35iと比較して約30%も向上している。ポスト新長期規制の適合に伴い、クリーン・ディーゼル自動車としてエコカー減税対象モデルの認定を受け、自動車取得税および重量税が100%免税となる。さらに、経済産業省が推進する「クリーンエネルギー自動車等導入対策費補助金」の対象となり、購入補助金が受給可能予定である。希望小売価格は、839万円。

BMW M Carbon Racerについて

BMW Mモデルの軽量デザイン哲学や妥協することのないパフォーマンスとデザインの融合を、自転車の世界で実現したモデルである。BMW Mモデルの特徴であるレッド・カラーをリム、グリップ・テープ、サドルの一部に使用すると共に、各部位には、最高級のパーツを採用している。希望小売価格は、393,750円。

この件に関する読者および視聴者からのお問い合わせ先は、
BMW カスタマー・インタラクション・センター: フリーダイヤル 0120-269-437 を
ご掲載ください。
受付時間: 9:00-20:00 年中無休
BMW インターネット・ウェブサイト: <http://www.bmw.co.jp>

この件に関する報道関係者のお問い合わせは:
BMW Japan Corp. 広報室: 03-6259-8025(企業広報)

藤原新プロフィール

藤原 新(ふじわら あらた): 1981年9月12日生まれ。(30歳) 長崎県諫早市 出身。身長168cm 体重54kg



＜経歴＞

長崎県立諫早高等学校・拓殖大学商学部卒業後、JR東日本に入社(八王子支社総務部総務課に勤務)し、JR東日本のランニングチームに所属。

2010年3月31日を以てJR東日本ランニングチームを退部。同年7月1日付で健康器具メーカーと3年のスポンサー契約を結び、同社に所属契約であった。

2011年10月31日付(1年3か月時点)で同社との契約を自ら解除し、無所属、無収入のまま、競技生活を続ける。

2012年2月26日、ロンドンオリンピックへの切符を賭け、10度目のマラソンとなる東京マラソン2012に出場、中盤から徐々にペースを上げ、終盤で前世界記録保持者のハイレ・ゲブレシラシエを抜き、更にゴール前で2位に上がるとそのまま2時間7分48秒の自己ベストを出して日本人1位でゴールインした。

2012年3月12日、同年7月より行われるロンドンオリンピックマラソン代表選手に選出される。ロンドンオリンピックに向け、川内優輝選手との公開合同練習など、本格的なトレーニングに入っている。

2012年3月30日付で、株式会社 藤原新を設立し、自らが代表取締役社長に就任する。同社を中心に据え、広報宣伝、営業活動を担うアラタ・プロジェクト事務局も同時に開設。

＜競技実績＞

| 年月 | 大会 | 順位 | 記録 | 備考 |
|------------|-------------------|-----|-----------|-------------------------|
| 2007年3月4日 | びわ湖毎日マラソン | 85位 | 2時間38分37秒 | 初マラソン・世界陸上ベルリン大会選考レース |
| 2008年2月17日 | 東京マラソン | 2位 | 2時間08分40秒 | 北京オリンピック選考レース |
| 2008年12月7日 | 福岡国際マラソン | 3位 | 2時間09分47秒 | 世界陸上ベルリン大会選考レース |
| 2009年8月22日 | 世界陸上ベルリン大会 | 61位 | 2時間31分06秒 | 団体戦日本男子代表銅メダル獲得 |
| 2010年2月28日 | 東京マラソン | 2位 | 2時間12分34秒 | |
| 2010年5月30日 | オタワマラソン | 優勝 | 2時間09分34秒 | 大会新記録・マラソン初優勝 |
| 2012年2月26日 | 東京マラソン | 2位 | 2時間07分48秒 | ロンドンオリンピック選考レース・自己ベスト記録 |
| 2012年5月13日 | 仙台国際ハーフマラソン | 2位 | 1時間03分32秒 | 日本人1位 ※ハーフマラソン |
| 2012年5月20日 | ぎふ清流ハーフマラソン | 6位 | 1時間03分05秒 | 日本人1位 ※ハーフマラソン |
| 2012年5月27日 | Bupa London 10000 | 2位 | 29分24秒 | 日本人1位 ※10kmマラソン |